

紛失した浜松市博物館資料（備品）の一部発見について

2021年（令和3年）11月29日及び2022年（令和4年）3月25日に紛失を公表した浜松市博物館が収蔵する資料（備品）について、新たに3件を発見しました。

記

1 発見資料（備品）※詳細は別紙のとおり

- (1) えんしゅう ごせんごくおんかえち ず 遠州五千石御替地図（川東領） 1枚
- (2) えんしゅうはまな ごせんごく ず 遠州浜名五千石図（浜名領） 1枚
- (3) はまつじょうに まるえ ず 浜松城二の丸絵図 1枚（重要物品）



(1)



(2)



(3)

2 発見日・発見場所

- (1) 発見日 2022年（令和4年）8月16日（火） 午後2時45分頃
- (2) 発見場所 浜松市博物館・第1収蔵庫

3 発見の経緯等

民俗資料の現状把握を行っていた博物館職員が、資料確認のため、床に置かれていた未整理の大型民具を移動したところ、民具の部材と部材の間に風呂敷に包まれた状態で資料3件を発見した。

資料の詳細

【2022年8月16日に発見された資料（備品）】※以下3件が風呂敷に同梱されていた

品名等	購入年月日	購入金額
遠州五千石御替地図（川東領） 1枚	平成7年5月19日	721,000円

宝永9年（1681）、浜松藩領（藩主青山家の時代）の領地替えに伴い作成されたと想定できる絵図。次の「遠州浜名五千石図（浜名領）」と組み合わせるもの。大きさは139cm×109cm（概数）。

品名等	購入年月日	購入金額
遠州浜名五千石図（浜名領） 1枚	平成7年5月19日	721,000円

宝永9年（1681）、浜松藩領の領地替えに伴い作成されたと想定できる絵図で、前の「遠州五千石御替地図（川東領）」と組み合わせるもの。大きさは104cm×71cm（概数）。

品名等	購入年月日	購入金額
浜松城二の丸絵図 1枚	平成7年5月19日	2,060,000円

浜松城内にあった二の丸御殿を描いた平面図。17世紀（藩主青山家の時代）。大きさは196cm×146cm（概数）。重要物品（取得価格が200万円以上）である。

【引き続き未発見である資料（備品）】

品名等	購入年月日	購入金額
伊勢暦（佐藤伊織）のうち1冊	昭和62年10月3日	50,000円

江戸時代から明治時代に作られた、月日、季節、日出日没、月の満ち欠け、六曜などを記した当時のカレンダー。45冊組であるが、そのうちの1冊（77番）のみ紛失。佐藤伊織は暦師の名。

品名等	購入年月日	購入金額
金原明善書簡 1通	平成13年10月30日	26,250円

古文書の類。金原明善が前田正名（薩摩藩出身、明治期に地方の産業振興に尽力した人物）へ宛てた書簡。